

《令和2年度 上下水道部 組織目標》

◆目標管理者

部長 打田 敏之

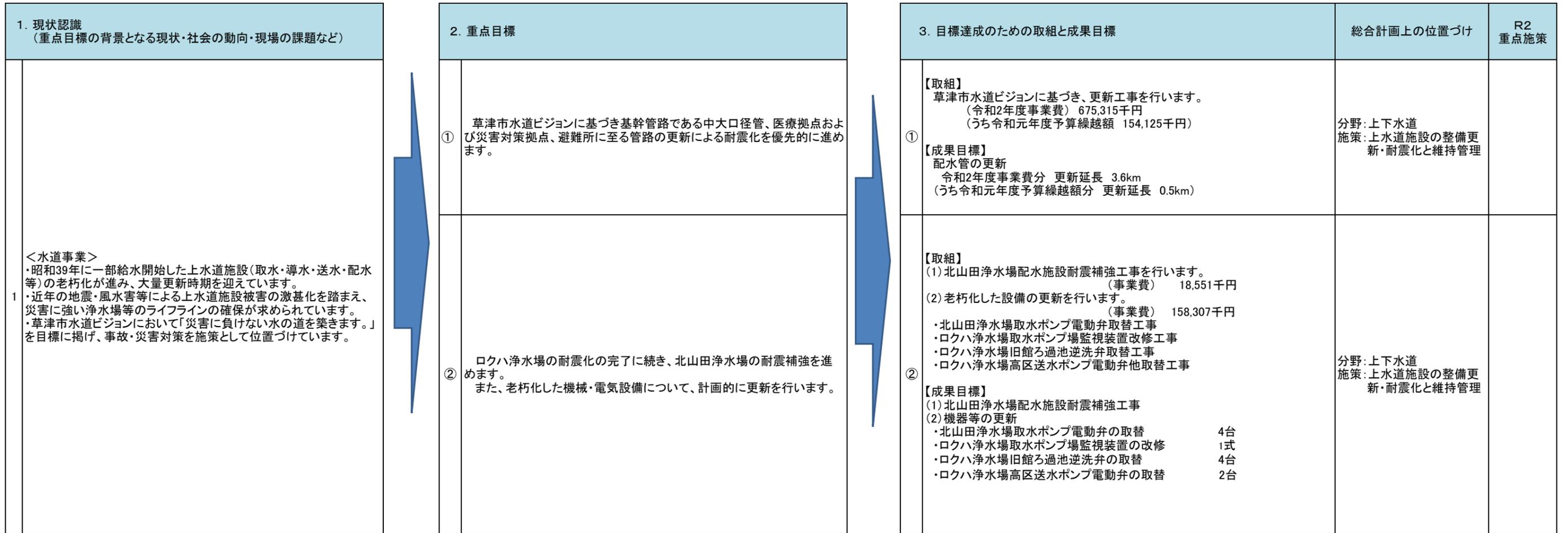
◆部局の役割・目標像

市民のみなさまの安心・安全で快適な暮らしのために

- ◆安心・安全で安定した水の供給に努めます。
 - ・「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、適切な上水道施設の整備や維持管理を行います。
 - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的な施設の更新・災害対策に取組みます。
- ◆下水道を通じ、豊かな琵琶湖の自然を守り、快適な暮らしを支えます。
 - ・下水道施設の適切な維持管理を行い、汚水の適正処理に努めます。
 - ・下水道整備も概成し、今後、未水洗化世帯の下水道への早期接続を促し、水洗化率の向上に努めます。
 - ・災害に強いライフラインの確保のため、計画的な施設の更新・災害対策に取組みます。
- ◆信頼を高める安定した経営に努めます。
 - ・上下水道事業のサービス向上に努めるとともに、事業内容や経営状況の情報発信を効果的に行います。
 - ・上下水道事業を安定的に継続するため、健全な事業運営に努めます。
- ◆次期計画策定に着手します。
 - ・第2次水道ビジョン、経営計画（経営戦略）の策定に取組みます。
 - ・下水道事業第9期経営計画（経営戦略）の策定に取組みます。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)				当初予算規模(千円)		
	正規	再任用	会計年度	合計	歳出 (職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	4	0	0	4	—	—	—
【水道事業】					3,846,931	936,125	2,910,806
上下水道総務課	4	0.5	2	6.5	1,776,874	347,122	1,429,752
給排水課	2	1	3	6	9,751	1,875	7,876
上下水道施設課	9	0	2	11	1,155,767	548,760	607,007
北山田浄水場	8	0	4	12	904,539	38,368	866,171
ロクハ浄水場	8	2	3	13			
【下水道事業】					5,985,764	3,027,467	2,958,297
上下水道総務課	4	0.5	2	6.5	5,247,379	2,439,194	2,808,185
給排水課	2	0	3	5	10,881	301	10,580
上下水道施設課	7	0	3	10	727,504	587,972	139,532
合計	48	4	22	74	9,832,695	3,963,592	5,869,103



1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R2 重点施策
<p><水道事業(経営)> ・節水型社会の進行により水道料金収入の大幅な伸びは期待できない状況です。 ・平成27年度に中間見直しを行った水道ビジョンおよび水道事業経営計画(平成23年度～令和3年度)に基づき事業展開を図っています。 ・事業開始から50年が経過し、老朽化した水道管の更新と併せて、震災等に備えたライフラインとしての機能確保が求められます。 ・水需要の減少など水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。</p>	<p>③ <水道事業(経営)> ・老朽水道管の更新の順次実施、災害に備えたライフラインとしての機能確保を考慮した整備・更新・改修を進めながら、安定的な水道水の供給と健全な経営を継続して行えるよう、水道事業経営計画に基づき、水道料金の10%還元を令和3年度末まで実施します。 ・水道ビジョン、経営計画の計画期間が令和3年度で終了することから、事業を取り巻く環境や社会情勢の変化を踏まえ、これまでの取組の課題を整理し、令和4年度以降の次期計画を策定します。</p>	<p>③ 【取組】 (1)水道事業の経営状況を明確に把握し、水道事業経営計画の進捗管理を行います。 (2)第2次水道ビジョン、経営計画(経営戦略)の策定に着手します。 (令和2年度～令和3年度 事業費 24,100千円)</p> <p>【成果目標】 (1)現事業計画の目標達成状況や経営状況の確認分析について、上下水道事業運営委員会へ報告し、議事内容についてホームページで公表を行います。 (2)第2次水道ビジョン、経営計画(経営戦略)の策定にあたり、上下水道事業運営委員会へ諮問を行い、審議内容についてホームページで公表を行います。</p>	<p>分野:上下水道 施策:上水道事業の健全経営</p>	
<p>③ <下水道事業> ・公共下水道の事業着手から40年以上が経過し、今後は施設の老朽化が進み、維持管理・更新の費用が増大していくことが見込まれています。 ・今後、効率的な施設管理を行うためには、優先順位を付けて計画的に事業を進めるとともに、事業を平準化する必要があります。 ・大震災の発生に備え、災害に強いライフラインの確保が求められており、下水道施設の耐震化について市民意識が高まっています。</p>	<p>④ 草津市下水道事業経営計画に基づき、計画的に施設を点検・調査し、更新を進めます。また、災害対策拠点、避難所等からの排水を受ける重要な幹線の耐震化を計画的に進めます。</p>	<p>④ 【取組】 (1)施設の点検・調査、更新を行います。 (令和2年度事業費) 55,900千円 (うち令和元年度予算繰越額 7,000千円) (2)耐震対策の工事を行います。 (令和2年度事業費) 188,300千円</p> <p>【成果目標】 (1)カメラ調査、施設の更新 ・令和2年度事業費分 調査延長 11.8km (うち令和元年度予算繰越額分 調査延長6.9km) ・マンホールポンプ更新 7基 マンホールポンプ制御盤更新 4面 (2)耐震対策工事 ・継手対策 170箇所</p>	<p>分野:上下水道 施策:下水道施設の整備更新・耐震化と維持管理</p>	
<p>④ <下水道事業(経営)> ・事業着手から40年以上が経過し、普及もほぼ完了し、今後は老朽化施設の更新や効率的な維持管理に主眼をおいた事業運営が必要となっています。 ・草津市下水道事業第8期経営計画(平成29年度から令和3年度)に基づき事業展開を図っています。 ・下水道事業は利用者のみならずからの下水道使用料のほか、総務省の繰出基準の通知に基づき、環境保全の観点の大きい経費については一般会計からの繰入金により経営を行っています。 ・使用料収入はほぼ横ばい傾向となっていますが、下水道事業を取り巻く環境の変化に注視し、引き続き事業の推進と安定した事業経営を続けていくことが必要です。</p>	<p>⑤ <下水道事業(経営)> ・老朽化が進む施設の点検調査を実施し、施設の状況を把握した上で、老朽化と災害への対策を行うと同時に、集中して実施してきた初期投資の更新時期の平準化を目指します。 ・下水道事業第8期経営計画の計画期間が令和3年度で終了することから、事業を取り巻く環境や社会情勢の変化を踏まえ、これまでの取組の課題を整理し、令和4年度以降の次期計画を策定します。</p>	<p>⑤ 【取組】 (1)下水道事業の経営状況を明確に把握し、下水道事業経営計画の進捗管理を行います。 (2)下水道事業第9期経営計画の策定に着手します。 (令和2年度～令和3年度 事業費 16,200千円)</p> <p>【成果目標】 (1)現事業計画の目標達成状況や経営状況の確認分析について、上下水道事業運営委員会へ報告し、議事内容についてホームページで公表を行います。 (2)下水道事業第9期経営計画(経営戦略)の策定にあたり、上下水道事業運営委員会へ諮問を行い、審議内容についてホームページで公表を行います。</p>	<p>分野:上下水道 施策:下水道事業の健全経営</p>	